

研究構想図

小学校 学習指導要領 国語の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語能力を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語能力を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

児童の実態

【全国学力調査より】

- ・「書くこと」領域では、全国平均正答を上回っている一方で、「読むこと」領域が低い傾向にある。
- ・文章が長くなってくると、内容が捉えられなくなるため、話の山場、キーワードを押さえることが難しい児童が多い。
- ・内容の中心を押さえられない児童の中には、音韻意識が弱い児童もあり、言葉を正しく捉えることが苦手であることから、意欲をもって読むことができにくくなっている。

研究主題

叙述を基にして、読む力を育てる指導法の工夫

目指す児童像

叙述に基づいて文章を読む児童  
自分の考えをもち、表現の仕方を工夫する児童

研究仮説

語彙を増やして言葉の理解を促し、叙述を基にして読ませる工夫をすれば、読む力が育つだろう。

研究の視点

| 視点 1 | 視点 2      |
|------|-----------|
| 場の工夫 | ワークシートの工夫 |